



ふるさと矢板の魅力を再発見！ 親子で川の生きもののさがし体験教室

7月24日市役所横の内川で、県農地水多面的機能保全推進協議会と矢板東高校の生徒を講師に迎え、水辺の生きものを観察する体験教室が開催されました。参加者は、講師から川の生きものの捕まえ方や川に入る際の注意事項を学んだ後、網を手に川へ入り、石を動かしたり草むらをかき分けたりしながら、生きものを探しました。子どもたちは「エビがたくさん生息していることがわかった」「カニを捕まえにまた来たい」と笑顔で話しました。



姉妹都市連携から46年 笠間市と新たな協定で交流を推進

7月29日松島本店で、笠間市・矢板市姉妹都市包括交流連携に関する協定締結式が行われました。これは、歴史文化交流・経済交流・災害時の相互応援整備など、持続可能な友好関係の構築を目的に締結したものです。締結式後は、両市の名産品試食会も行われ、それぞれの魅力を味わいながら交流を深めました。

市長は「今後も交流機会を創出し、互いに支え合う姉妹都市として歩んでいきたい」と話しました。



▲（左から）森島市長、笠間市 山口市長



▲ご協力いただいた松島本店のご主人は矢板市、奥様は笠間市のご出身



▲試食会で振る舞われた矢板市の名菓と笠間市の栗を使ったモンブラン

災害対応力の向上へ 図上訓練で警戒レベルに応じた対応を確認

7月16日市役所で、矢板消防署協力の下、災害対応訓練が行われました。これは、5月に刷新された5段階の警戒レベルと連動した図上訓練として初めて実施されたもので、警戒本部から災害対策本部への移行や、避難指示の発令、避難所の開設などを行いました。

市長は「今後も消防本部の皆さんと連携しながら災害対応の型を身に付け、想定外の事案にも対応できる体制を構築していきたい」と話しました。



県消防操法大会で優良賞受賞！ 塩谷支部代表 第3分団第2部（片岡地区）

7月25日県消防学校で、消防団員の技術向上と士気の高揚を目的に、第48回栃木県消防操法大会が開催されました。塩谷支部代表に選ばれた市消防団第3分団第2部は、放水活動の正確性や所要時間を競う「小型ポンプ操法」の部で、優良賞を受賞しました。

団長は「選手の健闘と応援に感謝する。操法は消防団員に欠かせない技術。有事に備え、今後も訓練に励んでいきたい」と話しました。



笑顔とお囃子で夏を満喫 KATAOKA BASE 主催「かたおか夏祭り」

8月1日片岡公民館で、かたおか夏祭りが開催されました。当日は、お菓子まきやじゃんけん大会、盆踊りなど、子どもから大人まで楽しめる催しが盛りだくさん。会場は多くの来場者でにぎわいました。秋鵬民謡会と子どもたちによるお囃子の演奏では、元気な音色が会場を盛り上げ、祭りの最後には花火も打ち上げられました。参加者は「お菓子まきが楽しかった！来年も参加したい」と笑顔で話し、片岡の夏の夜を楽しみました。



▲元気いっぱいにお囃子を披露する子どもたち



▲お菓子まきでは、飲食ブース・屋台で使える引換券付きのボールも登場



▲キッチンカーや飲食ブースのほか、ヨーヨー釣りや射的、ピン起こしなどの屋台も大人気



▲フィナーレを飾った花火



育児相談支援が充実 県内初 オンライン母子保健相談協定を締結

7月29日市役所で、(株) Kids Public 様とオンライン母子保健相談モデル事業に関する協定締結式が行われました。これは、主に妊娠中の方や未就学児の保護者を対象に、医師や助産師に無償で24時間相談ができるオンライン相談サービスの有効性を検証するものです。市長は「仕事と子育ての両立を支え、誰もが安心して子どもを産み育てられる環境づくりにつなげたい」と話しました。



▲(左から) 森島市長、(株) Kids Public 橋本代表取締役

鉄人たちが挑む！ 矢板の暑い夏 第30回たかはらやまトライアスロン

8月2日、矢板運動公園を発着点に「2026 たかはらやまトライアスロン大会」が開催されました。記念すべき第30回を迎えた今大会には、遠くは広島県からの参加者を含む178人の鉄人たちが集結。「矢板の暑い夏」を舞台に、スイム・バイク・ランの3種目に挑み、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。

沿道には多くの市民が駆け付け、温かな声援で選手たちを後押ししたほか、地元高校生をはじめ、多くのボランティアの皆さんが大会運営をサポート。選手・ボランティア・応援する皆さんが一体となり、記念大会にふさわしい熱気あふれる一日となりました。



▲▶給水所や飲食ブースの高校生ボランティア

柔道で県大会制覇 感謝を胸に関東・全国大会へ挑戦

矢板中学校 柔道部 館脇 凛心さんが、県中学校総合体育大会柔道個人戦で優勝し、第51回関東中学校柔道大会・第57回全国中学校柔道大会への出場を決めました。膝の負傷により半年間練習ができないうつらい時期もありましたが、その悔しさをバネに見事勝利をつかみ取りました。館脇さんは「先生や家族、柔道部のみんなに恩返しができるよう、練習の成果を発揮し、全力を出し切りたい」と大会への意気込みを語りました。



アスファルトからトマトが！ 奇跡の「ド根性トマト」、ついに収穫

泉体育館入口のアスファルトの隙間から、たくましく育つトマトを発見しました。いこいず農園でもトマトを育てていますが、「なぜこんな場所から!？」と農園関係者もびっくり。思いがけない場所で芽を出し、大きく育ったことから「ド根性トマト」と名付け、みんなで成長を見守ってきました。その後、実は見事に真っ赤に色づき、無事に収穫! 厳しい暑さにも負けず成長した「ド根性トマト」が、うれしい実りの時を迎えました。



新宿に生涯学習フェス旋風 高校生ボランティア交流で夢中人続出

8月4・5日、新宿区で開催された「高校生ボランティアアワード2026」に、生涯学習フェス実行委員を務める矢板東高校の生徒が参加し、全国でボランティア活動に取り組む高校生と交流しました。会場では、多種多様なけん玉を用いたブースを出展。挑戦する人やそれを見守る人が夢中になり、大きな歓声が上がるなど、会場屈指の盛り上がりを見せました。メンバーは「全国の高校生のさまざまな活動・考え方を知り、刺激になった」と話しました。

